

## ⇩ 平成26年分路線価

**Q** : 平成26年分の路線価が公表されたようですが、どのような内容だったのですか？

**A** : 都道府県の県庁所在地の最高路線価は18都市で上昇、横ばいは8都市、下落は21都市でした。

### 【解説】

さきごろ、国税庁から平成26年分の路線価が公表されました。

今年分からは、国税庁のホームページで、7年分の路線価が閲覧できるようになっています。

都道府県の県庁所在地の最高路線価が上昇したのは18都市で前年を大幅に上回り、横ばいは前年同様8都市、下落したのは21都市で大幅に減少しています。

上昇率が5%以上の都市は、さいたま、東京、横浜、金沢、名古屋、大阪、広島、那覇となっており、下落率が5%以下の都市は、水戸、長野、宮崎、鳥取となっています。

最高路線価は、東京銀座中央通り(鳩居堂前)で1㎡当たり2,360万円で、次いで大阪の北区角田町御堂筋756万円、横浜駅西口バスターミナル前通りの666万円となっています。

なお、原発事故により「帰還困難区域」「居住制限区域」「避難指示解除準備区域」に設定されている区域内の土地等については、路線価等を定めることが困難であるため、前年同様、価額を0として差し支えないこととなっています。

